

令和8年6月19日

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

石川県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
能登町立小木小学校	能登町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
能登町立小木小学校	https://cms.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/ さと（里）海へいこう！

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
能登町立小木小学校	https://cms.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/ さと（里）海へいこう！	https://cms.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/ さと（里）海へいこう！

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（1）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている ・一部、計画通り実施できていない ・ほとんど計画通り実施できていない
--

（2）実施状況に関する特記事項

※（1）で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

（3）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している ・実施していない

＜特記事項＞

- ・保護者や地域に対して、学校だより、里海通信や学級だより、研究発表会等を通して、趣旨説明や成果報告を行った。
- ・保護者や地域に対して、発表会やケーブル放送で授業の様子等を発信した。

3. 実施の効果及び課題

（１）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

郷土への誇りと愛情を育むため、地域の特性を反映した独自の教育課程を導入している。特に海と人とのつながりを学び、海への理解や興味を深めることに重点を置いた教育活動を展開している。

（効果）小木の町が好きである。 95.2%

小木の町や海を大切にしようと思う。100%

- ・地域や海に愛情を持ち、大切にしたいという気持ちをもった児童が育っている。

（課題）里海学習で 小木の町や海について 新しく知ることができましたか。90.5%

- ・町や海に関する新しい気づきが不足している。新鮮な驚きが児童の好奇心を育てる契機となるため、教育活動のさらなるアップデートが不可欠である。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

小木小学校の里海科は、多彩な海洋教育により海への感性を磨き、海と人間のつながりを学ぶことで、持続可能な社会を築く人材の育成を目指す。この目標設定は関係法規の規定にも合致しており妥当である。

「チャレンジ意欲をもち、他と協力しながら創造的に活動する児童の育成」という理想の児童像に向け、里海学習は有効に機能している。児童自身が学びの意義を理解し、主体的な話し合いや発表、学習のまとめに意欲的に取り組んでいる。

（効果）里海学習は、自分のためになりましたか。92.9%

里海学習で、話し合ったり、発表したり、学習をまとめたりする活動は楽しい。
92.9%

（課題）学びを発信する点に課題が残る。情報をまとめて表現できる児童を育てるため、子どもたち自身が「伝えたい！」とワクワクするような、実践的なアプローチを取り入れる必要がある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

体験型の学びや適切な交流の場を通じて、海に対する関心を養う。それと同時に、成果を発信する活動を充実させ、海と人間の関わりや人々との多様な結びつきを深く理解させる。